

## 先天性難聴・若年発症型両側性感音難聴の遺伝子解析・ 遺伝カウンセリングについて

先天性難聴の発生頻度は、出生 1,000 人に約 1 人とされており、先天性疾患の中でも高い頻度の疾患です。

先天性難聴の原因の少なくとも 50%以上に遺伝子が関与しているものと推測されており、また、若年で発症する両側性感音難聴についても遺伝子の関与が明らかになっております。遺伝子診断は重症度や予後、随伴症状の予測、治療法選択の参考になります。

2012 年 4 月 1 日より健康保険での検査が可能となりました。

当院では 2012 年 10 月 1 日より耳鼻咽喉科・遺伝子診療部において先天性難聴の遺伝子解析・遺伝カウンセリングを開始しております。

検査に際しては、まず耳鼻咽喉科初診外来（月～金 午前 8 時～10 時 30 分）の受診をお願いいたします。

検査内容全般に関するお問い合わせは、  
当院耳鼻咽喉科外来（担当：荒井康裕）までご連絡ください（代表 045-787-2800）。